

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は6日、前橋市の県庁内で、災害避難所向けの段ボール製間仕切り「KAMIKABEへかみかべ」の組み



組み立ての様子を視察する山本知事（左端）

立てを訓練した。かみかべは、自然災害と感染症拡大が同時発生する事態に備えるため、協会が6月に製品化した。当初から注目していたという山本一太知事の要望を受け、実

て訓練を行っており、群馬県全体への災害対応組織力の向上につなぐと期待を込めた。6日時点で、全35市町村のうち30団体が訓練を実施済みという。かみかべは、避難所の3密対策やプライバシーの確保、ストレス軽減などを目的に群馬建協が考案し、デザインや使い勝手にもこだわった。約20分で組み立てられ、スペースも柔軟に変更できる。サイズは1辺2.1mの正方形で、高さは1.5m。避難所・避難生活学会が推奨する新型コロナウイルス対策のスペース基準を満たしている。

群馬建協

## 「KAMIKABEへかみかべ」 山本知事に披露

### 避難所コロナ対策で備え

物に触れてもらう機会を設けた。

山本知事は「災害が起こった場合の避難所でコロナ対策

訓練開始に当たり、青柳会長は「避難所での生活の質を向上させる装置として開発した。現在、県下一円で組み立

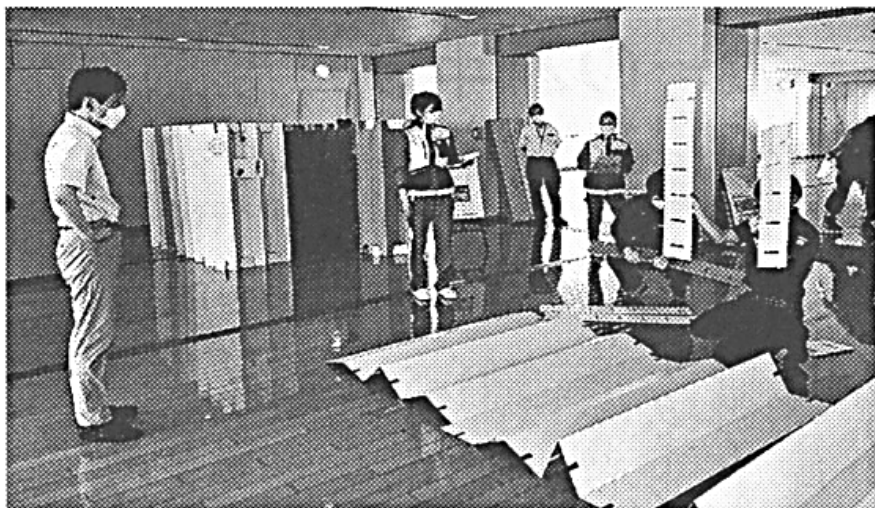
にしつかりと備えなければならぬ。建設業界から群馬モデルとなる、このようなアイデアが出されたことをうれ

し、避難所・避難生活学会が推奨する新型コロナウイルス対策のスペース基準を満たしている。

# 県庁で組み立て訓練

群馬県建設業協会(青柳剛会長)

は6日、個人スペースを設ける避難所向け間仕切り「KAMIKABE(かみかべ)」の設置訓練を前橋市の群馬県庁で行った。梱包(こんぼう)状態から組み立てまで一連の作業を群馬県建設業青年経営者部会のメンバーらが披露した。視察した山本一太知事は「プライバシーと感染症の拡大防止が



組み立て作業を見学する山本知事(左)

## 群馬建協 避難所パーティション

求められる中、建設業からの提案を心強く思う」と述べた。

群馬建協は県内すべての市町村と連携した設置訓練を14日までに終わらせることにしている。県庁での訓練は山本知事からの要請で実施した。冒頭、青柳会長は「協会の行動指針のキーワードは備え。かみかべは九州の豪雨の被災地に提供し、県内で設置訓練を行っている。群馬ならではの災害対応組織力の向上になっている。(訓練の)総仕上げにしたい」とあいさつした。

山本知事は協会の対応に謝意を示した上で「(感染症で)米国は避難所の対応に当局が苦勞している。しっかり備える群馬モデルを発信する協会を心強く思う。災害対応に最大限活用したい」と語った。

かみかべは厚さ3ミリの段ボール

製。テープや金具を使わずに20分ほどで組み立てられる。標準ユニットは2・1m×2・1mサイズ。30センチ単位で拡張できる。避難所・

避難生活学会推奨の新型コロナウイルス対策を踏まえた居住スペースを構築できる。訓練では群馬建協環境すみずみパトロール隊の吉田美由紀さんが「公民館などの限られたスペースに整然と設置できる」などと特徴を説明した。「避難所ごとに(サイズなど)タイプを想定しておくのが望ましい」とも紹介した。

山本知事は組み立てられたユニット内に入り、強度などを確認。訓練を終えて「大変注目していた。思っていたより早く組み上がった。感染の再拡大を防がねばならない時に画期的な対策になる」と述べた。災害時の協会との連携をさらに強化する考えも示した。青柳会長はかみかべの協会支部などへの分散備蓄に加えて、近県の建設業協会との隣県備蓄に意欲を見せた。

山本知事 「建設業の提案心強い」

# 「KAMIKABE」で3密対策

## 山本知事が組み立て訓練視察

群馬建協

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は6日、自然災害と感染症の複合災害対策として開発した段ボール製パーティション「KAMIKABE（かみかべ）」の組み立て訓練を群馬県庁で実施。山本一太知事が訓練を視察した。



組み立てを視察する山本知事（写真左）

「この力の上につなげてきた」と説明。こうした取り組みが、群馬県ならではの災害対応組織の総仕上げとなる」と力を込めた。

山本知事は「今後、毎年のように大災害が発生することを想定しなければならぬ。避難所での新型コロナウイルスの感染は特に注意が必要。群馬の建設業協会からKAMIKABEのアイデアが生まれ、群馬モデルを全国に発信する流れができたのは知事として大変心強く思う」と挨拶した。

訓練では、群馬建設業協会環境すみずみパトロール隊がKAMIKABEの概要を説明。建協の青年経営者部会が実際に組み立てを行った。訓練を視察した山本知事は「KAMIKABEではプライバシーがしっかりと確保されており、感銘を受けた。今後、県としても災害発生時の避難所整備体制を一層整えていきたい」と話した。

KAMIKABEの制作では、建設業の「ものづくりネットワーク」を活用した。屏風構造とリブによって丈夫な壁を構築可能。リブにはハンガーや照明、扇風機などを付けることができる。組み立てに要する時間は約20分となっている。群馬建協では、業界ネットワークを活用した分散備蓄方式を提案しており、近隣の建設業協会同士でKAMIKABEを分散備蓄することも視野に入れている。



# 問仕切りの 組み立て実演

県建設業協会

## 前橋

災害避難所の「3密」対策として、県建設業協会（青柳剛会長）は6日、県庁で、協会が開発した段ボール製問仕切り「KAMI KABE」の組み立てを実演した。

県建設業青年経営者部会の会員が2・1以四方、高さ1・5以の間仕切りを手際良く組み立てた。山本一太知事や県幹部ら職員が会場を訪れ、組み立て作業や問仕切り内部の様子を確認した。写真。

協会は先月から県内市町村を対象に組み立て訓練を実施しており、6日までに30市町村で終えた。県庁での実演もその一環。

## ◎紙製間仕切りの組み立て訓練＝避難所の新型コロナ対策に―群馬県建設業協会

20/08/06 14:18 NG082

群馬県建設業協会は6日、避難所での新型コロナウイルス対策に役立てようと、独自開発した段ボール製の間仕切り「KAMIKABE（かみかべ）」の組み立て訓練を群馬県庁で実施した。訓練には山本一太知事も参加し、「プライバシー確保に加えてコロナ防止策にもなる。群馬モデルとして発信、拡大していきたい」と述べた。

KAMIKABEは、厚さ3ミリの段ボールをびょうぶのように折って壁とし、同じく段ボール製のパーツで連結、固定して部屋状の間仕切りを作る仕組み。基本サイズは縦横が各2.1メートル、高さ1.5メートルで、大人3人が20分をめぐりに組み立てることができる。

リサイクル可能な段ボール以外の資材を必要とせず、梱包（こんぼう）時は長さ152センチ、幅65センチ、厚さ12センチの直方体となるため備蓄も容易だという。

訓練では、梱包状態から実際に1部屋を組み立てたり、山本知事が中に入って様子を確認したりした。県建設業協会の青柳剛会長は、「感染症対策の基準に沿って開発した。自然災害に加えて、感染症との複合災害にしっかりと備えていきたい」と強調した。（了）



KAMIKABEの前であいさつする山本群馬県知事（右）＝6日午後、同県庁（田巻竜介撮影）